

第7回合併協議会の内容

日時	平成17年2月28日(月) 午後2時
場所	渋川プリオパレス
出席委員	43名

今回の会議では、「組織及び機構に関すること」についての報告事項や、平成17年度渋川地区市町村合併協議会事業計画及び歳入歳出予算が協議されすべて原案のとおり承認されました。

□報告事項

報告第13号 渋川地区市町村合併協議会委員の変更について

小野上村議会議長改選に伴う委員の変更について報告しました。

委員区分	変更前氏名	変更後氏名	備 考
3号委員 (議会議員)	平方 由衛	角田 皇	小野上村議会議長
	中沢 義美	平方 嗣世	小野上村議会選出議員
	角田 皇	佐藤 兵造	小野上村議会選出議員

報告第14号 新市議会運営等調整会議の設置について

議会の事務事業の調整及び新市の議会運営の確立を目的として、新市議会運営等調整会議を設置することを報告しました。

報告第15号 協議項目13「組織及び機構に関すること」について

決定されていた方針の中で、新市の組織及び機構の未調整の部分についての調整結果が以下のとおり報告されました。

新市における組織・機構の整備方針

1 基本的事項

- (1) 新市における組織・機構は、関係市町村において行われてきた各般にわたる業務をより円滑かつ効率的に進めるため、本庁については市全般の組織・機構が十分に機能することを基本に、管理部門等をはじめ各行政分野の統合・整備を進めるものとする。支所については、各関係町村地区における住民要望に応え得る地域整備や住民へのサービスの低下等を来さないための統合・整備を進める。
- (2) 各種の行政手続きや住民ニーズ等に的確に対応するための業務執行体制の確立を基本に、本庁及び支所いずれにおいても住民に分かりやすく利用しやすい組織とし、特に住民に関係が深い窓口業務をはじめとした各部署を充実した組織・機構とする。
- (3) 行政区域の拡大に対応しうる相談、支援業務など住民に身近な組織・機構の充実を図り、住民の声を行政に的確に反映できる組織・機構とする。
- (4) 合併関係市町村の処理業務が円滑かつ速やかに新市に移行しうる組織・機構とするとともに、行政機能の継続性に配慮した組織・機構とする。

- (5) 総務、企画、財政などの管理部門では、一層の効率化を図り、市民、保健福祉、経済、建設・水道、教育の各部門においては業務機能を充実した組織体制とする。

2 整備・統合にあたっての具体的な考え方

(1) 簡素で効率的な組織・機構

本庁と支所との連携を基本にして、処理事務の明確化を図り、業務の一元化に努める。

また、効率的かつ計画的な業務執行を進めるため、現在の各庁舎施設・機能を有効かつ効果的に活用した組織・機構の統合・整備を行う。

なお、新市においては常にその組織・機構を見直し、更なる効率化に努め規模の適正化を図る。

(2) 指揮命令系統が簡素で明確な組織・機構

本庁の各部には部長を置き、支所には部長級の支所長を置くものとし、部長（支所長）及び課長等との責任と権限を明確にする。

また、支所では、本庁と支所の機能を明確にし、地域の総合的な事務所とする。

(3) 支所の機能について

支所については名称を総合支所とし、窓口業務部門をはじめとして生活基盤部門など地域に密着した業務の充実を図る。さらに支所と本庁との連携・協力により、一層の住民サービスの向上を図る。

また、地域住民の生涯学習などの拠点としての整備を行い、地域の総合行政サービス機関とする。

※本庁及び支所の組織機構図については4ページから7ページをご覧ください。

□協議事項

議案第19号 渋川地区市町村合併協議会平成17年度事業計画

平成16年度に引き続き下記の事業を行います。

- 1 事務事業の「調整方針」の策定
- 2 協議会だよりの発行
- 3 ホームページによる情報提供
- 4 その他調査研究

議案第20号 渋川地区市町村合併協議会平成17年度歳入歳出予算

総額9,000千円の予算が承認されました。

主な支出内容としては、協議会だよりの発行が約3,500千円、例規調整業務などの委託料が約1,000千円、委員報酬や会議録作成などの会議費が約920千円となっています。